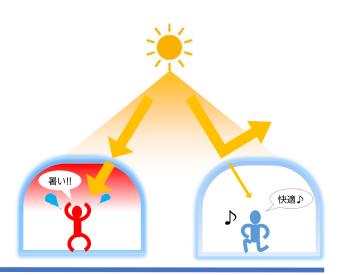
遮熱について

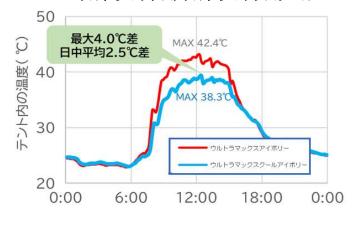
遮熱とは、太陽光の「赤外線を反射させること」で 温度の上昇を防ぐことをいいます。

遮熱シリーズでは、表面で太陽光を多く反射し、 内部温度上昇を防ぎます。

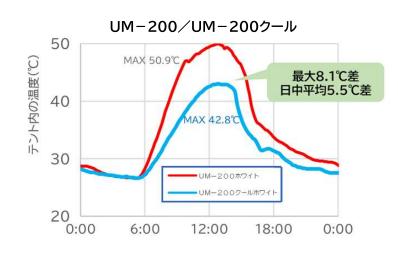


どのくらい効果あるの?

ウルトラマックス/ウルトラマックスクール



- 従来タイプと遮熱タイプの比較 -





試験の様子

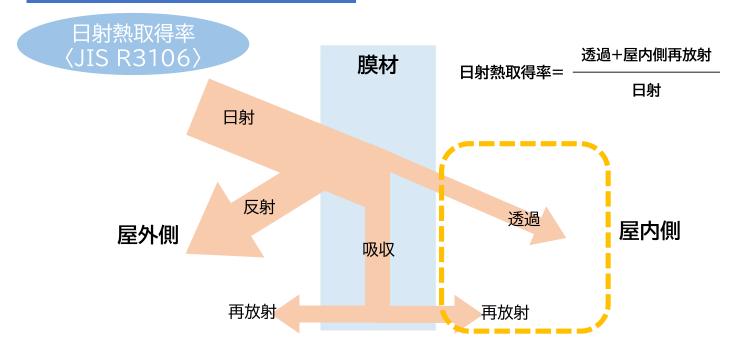


1間×1.5間のテント倉庫に各膜材をつけ、内部温度の経時変化を測定。(測定日8月)

2000m²nの施工物で、地上から6mの位置にて内部温度の経時変化を測定。(測定日8月) 上記数値はJISの定める測定方法及び当社法測定値であり、保証値ではございません



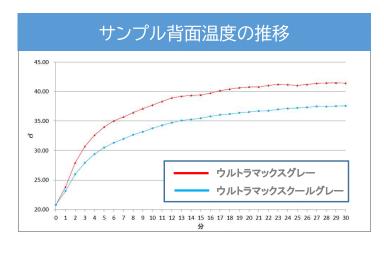
様々な遮熱評価方法について

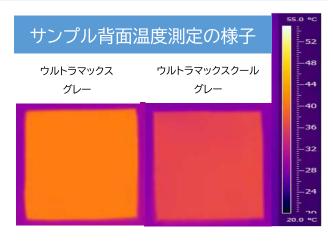


日射熱取得率とは、ガラスに当たった日射を1とした時、室内にどのぐらい熱が 侵入するかを示す数値です。膜材でもガラスと同様の評価を行うことができます。 数値が小さいほど日射による熱の侵入が少なく、遮熱効果が高いといえます。 日射熱取得は透過日射、吸収、再放射の要素から成ります。

遮熱性試験 〈JIS L1951〉

表面温度の測定比較





太陽光に近似した光を試験片の表面から照射し、加熱された試験片から再放射された熱線を試験片の背面からサーモグラフにて計測。

試験前及び試験30分後の試験片背面温度を測定し、その遮熱性能を遮熱率で表します。

日射熱取得率・遮熱率データ

	色相	加工 タイプ	日射熱取得率				遮熱率	
			反射率 (%)	透過率 (%)	吸収率 (%)	日射熱 取得率	(%)	区分
ウルトラマックス	アイボリー	通常	75.0	14.6	10.4	0.17	51	S45
		クール	79.5	7.1	13.4	0.11	58	S55
エバーマックス 450	アイボリー	通常	75.8	12.2	12.0	0.15	52	S45
		クール	80.0	5.1	14.9	0.09	60	S55
ターポロン G-3000II	アイボリー	通常	74.9	7.1	18.0	0.12	56	S55
		クール	79.8	3.1	17.1	0.08	62	S55
サンドリーム2	トーメイ	通常	19.6	67.7	12.7	0.71	10	S15-
		クール	42.9	45.0	12.1	0.48	30	S25
試験方法			JIS R 3106				JIS L 1951	

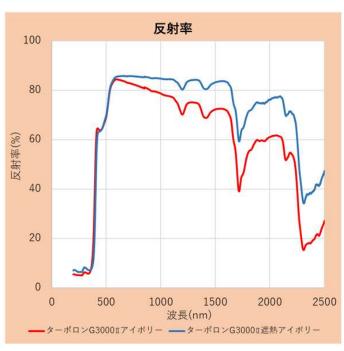
[※]JIS L1951遮熱性試験は、一般財団法人ニッセンケン品質評価センターにて試験を実施

反射率:波長領域グラフ

ウルトラマックス/ウルトラマックスクール



ターポロンG3000 II / ターポロンG3000 II 遮熱



上記数値はJISの定める測定方法及び当社法測定値であり、保証値ではございません



[※]日射熱取得率が小さい程、太陽光線による熱戦を遮る効果が高くなります

エバーマックス450/エバーマックス450クール



サンドリーム2/サンドリーム2クール



上記数値はJISの定める測定方法及び当社法測定値であり、保証値ではございません



AIRAOKA 平岡織染株式会社 HIRAOKA & CO., LTD.

東京 〒110-0011 東京都台東区三ノ輪1-21-7 TEL.03-3876-2111 FAX.03-3875-5627 大阪 〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-2-14 TEL.06-6209-7000 FAX.06-6209-7011 URL https://www.tarpo-hiraoka.com